

# 令和 4 年 長崎年表

**1月4日** 市上下水道局は、昨年12月末に発送した11月分の水道料金等督促状約1万件のバーコードに誤りがあったと発表した。

**1月6日** 市立小中24校に給食を提供する「市北部学校給食センター」（豊洋台2丁目）が完成し、開所式が行われた。

**1月7日** 「長崎稲佐山スロープカー」の利用者が、20万人を突破した。

**1月7日** 冬の全国高校サッカー選手権で県立国見高等学校を6度の優勝に導いた小嶺忠敏氏が肝不全のため亡くなった。

**1月12日** 市上下水道局は、平成28～令和2年度に年度平均で30件以上の施工実績などがあり、市の上下水道事業に貢献した市内の4事業者を表彰した。

**1月13日** 新型コロナウイルス感染症の感染者の急増を受けて、中村知事は臨時記者会見を開き、県独自の警戒警報を県内全域に出した。

**1月14日** 市は、市農業委員会の男性職員が農業者年金受給者協議会の事務費計53万4,000円を着服していたと発表した。

**1月16日** 第40回全国都道府県対抗女子駅伝が京都市で行われ、長崎は3大会ぶりの入賞となる5位となった。最終9区の廣中璃梨佳（長崎商業高出身）は6大会連続区間賞を獲得した。

**1月19日** 中村知事は、政府の「まん延防止等重点措置」が21日から適用されるのを受けて、長崎市及び佐世保市を措置区域に指定した。

**1月20日** 田上市長は会見で、21日から政府の「まん延防止等重点措置」の適用区域となることを受けて、市内162公共施設を21日から順次休館すると発表した。

**1月25日** 中村知事は臨時記者会見を開き、長崎市及び佐世保市に適用している「まん延防止等重点措置」の対象区域を26日から県内全域に拡大すると発表した。

**2月2日** 市は、新型コロナウイルスの濃厚接触者の調査方法を見直すと発表した。感染が判明した人は濃厚接触が疑われる人などに報告し、連絡を受けた側は県にチェックリストを使い濃厚接触者に当たるか判断する。

**2月8日** 長崎原爆の「黒い雨」などを客観的に検証する県の専門家会議が、オンラインで初会合を開いた。

**2月10日** 中村知事は臨時記者会見で、県内全域に適用している新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置の期限を3月6日まで延長すると発表した。

**2月10日** 市は、新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置が3月6日まで延長されたことに伴い、当初2月13日までとしていた市内162の公共施設の休館期間を3月6日まで延長すると発表した。

**2月14日** 市議会事務局は、2007年に市の男性部長（故人）から性暴力を受けたとして、報道機関の女性記者が市に損害賠償などを求めた訴訟に関連し、女性の弁護士などが昨年の市議会で性暴力に関するヤジが飛んだと訴えている問題で、男性市議がヤジを飛ばしたことを認めたと明らかにした。

**2月15日** 市は、生活保護費1万125人分の支給が遅れたとして、男性職員（28）と男性係長（45）を戒告の懲戒処分とした。また、農業者年金受給者協議会の銀行口座から計90万2,000円を着服した男性主任（48）を懲戒免職処分とした。

**2月15日** 市は、市内の医療機関が入院中の女性（90歳代）に4回目の新型コロナウイルスワクチンを接種するミスがあったと発表した。

**2月17日** 市は、市内の高齢者入所施設で、入所する女性（90歳代）に対し、主治医が誤って4回目の新型コロナウイルスワクチンを接種したと発表した。

**2月17日** 県は、新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」に伴う飲食店への自粛要請について21日から緩和すると発表した。

# 令和 4 年 長崎年表

**2月18日** 市は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるなどとして、臨時休館している市の公共施設 138 施設について、県内に適用されている「まん延防止等重点措置」の解除を待たず、21 日から順次再開すると発表した。

**2月20日** 任期満了に伴う知事選は投票が行われ、即日開票の結果、無所属新人の医師、大石賢吾氏（39）が初当選した。

**2月28日** 田上長崎市長は、松井広島市長と連名で、ウクライナに侵攻し、核兵器の使用を示唆したロシアのプーチン大統領に宛てた抗議文を在日ロシア大使館に送った。

**3月1日** 市議会は、ウクライナに侵攻し核兵器使用を示唆したロシアに対し、抗議する決議案を全会一致で可決した。

**3月1日** 3 期 12 年にわたり県知事を務めた中村知事が退任会見を行った。

**3月2日** 新しく県知事に就任する大石知事が、就任会見を行った。

**3月4日** 県内全域に適用されている新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置の解除決定に伴い、県が飲食店への時短営業や県民への外出自粛要請終了を発表した。

**3月9日** 県と市と IT 企業のニジボックス（東京）は、同社の新たな拠点「長崎サテライトオフィス」を市内に開設する立地協定を締結したと発表した。

**3月11日** 市は、介護保険課が支給する「高額介護サービス費」について、算定システムの設定に誤りがあり、32 人に対して計 40 万円余りの支給不足があったと発表した。

**3月11日** 市議会は定例会議で正副議長選を行い、新議長に深堀義昭氏（77）、副議長に武次良治氏（69）を選出した。任期は来年 5 月 1 日まで。

**3月11日** 市は、市立長崎商業高等学校（泉

町）に「情報科」と「スポーツビジネスコース」を新設すると発表した。

**3月17日** 長崎自動車道の長崎インターチェンジ（IC）－長崎芒塚 IC 間（延長 3 ㎞）の 4 車線化工事が完成し、供用を開始した。

**3月18日** JR 長崎駅の改札前に、商業施設「長崎街道かもめ市場」がオープンした。

**3月18日** 厚生労働省は、広島への原爆投下直後に降った「黒い雨」の被害救済の拡大に向け、黒い雨に遭った人を被爆者と認定する新基準の内容を自治体に通知した。

**3月18日** 県交通局（県営バス）と長崎自動車（長崎バス）は、両者による共同経営が同日付で国土交通省に認可されたと発表した。

**3月21日** 長崎開港 450 周年記念事業「長崎開港シンポジウム 500」が、出島メッセ長崎（尾上町）であった。

**3月22日** 市は、ロシアに軍事侵攻されたウクライナからの避難民を受け入れると発表した。

**3月24日** 市と市上下水道局は、企業会計システムへの電子決裁導入に向けて、NTT データ九州（福岡市）とデジタル化推進に関する連携協定を締結した。

**3月25日** 「夜景サミット」が札幌市で開かれ、「日本新三大夜景」として長崎市が 3 位に選ばれた。

**3月25日** 大石知事は臨時記者会見で、新型コロナウイルス感染症の感染段階レベルを「1」（注意報）に 26 日から引き下げると発表した。

**3月26日** 27 日に開館する県立長崎図書館郷土資料センター（立山 1 丁目）の開館記念式典があった。

**3月30日** 市は、市の外郭団体「長崎高島水産センター」（高島町）の元社員が、会社の資金約 180 万円を横領したと発表した。

# 令和 4 年 長崎年表

**4月1日** 長崎自動車（長崎バス）と県交通局（県営バス）は3地区（東長崎、日見、滑石）で路線バスの共同経営を開始した。

**4月1日** 令和4年長崎市表彰式が、出島メッセ長崎（尾上町）で行われ、市政発展に貢献した個人68人と12団体に表彰状が贈られた

**4月4日** ノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の川崎哲国際運営委員が、市で記者会見を行った。

**4月8日** 岡田誠司駐バチカン日本国特命全権大使が、大石知事を訪問した。

**4月13日** 米国が昨年6月と9月に臨界前核実験を実施していたとの報道を受け、田上市長と深堀議長は連名で、バイデン米大統領宛ての抗議文を在日米国大使館に送付した。

**4月14日** 市入札監視委員会は、2021年に市が発注した建設工事の入札・契約手続きについて「不適切な点は認められなかった」とする報告書を市へ提出した。

**4月17日** 旧長崎街道「シュガーロード」（約230<sup>キロ</sup>）を踏破する「長崎街道さるく」の出発式が、出島表門橋公園であった。

**4月18日** 市は、市立小学校で、給食のポークカレーライスの中から金属製のねじ（長さ約1<sup>センチ</sup>）が見つかったと発表した。

**4月20日** 大石知事は、臨時会見を開き、県内の新型コロナウイルス感染症の感染段階レベルを「1」から「2-I」に引き上げ、警戒警報を発令した。

**4月21日** 田上市長は、大型連休を前に市内で新型コロナウイルス感染が再び広がっている状況を受けて、臨時の記者会見を開いた。

**4月23日** 長崎ヴェルカが、リーグ優勝と来季の2部（B2）への昇格を決めた。

**4月25日** 市は、観光マスターブランドのコンセプトとロゴマークを発表した。

**4月26日** 西九州新幹線（武雄温泉－長崎）の沿線5市は、長崎市出身の漫画家、渡辺航さん原作のアニメ「弱虫ペダル LIMIT BREAK」とのコラボレーション事業を発表した。

**4月28日** 市は、「市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂」（岡町）の焼香台で不審火が発生したと発表した。

**4月29日** 市恐竜博物館（野母町）で開催されている企画展「アフターマン展～未来生物図鑑～」の入場者が、1万人を突破した。

**5月15日** 市が2020年度から再整備を進めてきた市民会館前の「魚の町公園」が完成し、記念イベントが開かれた。

**5月17日** 県は、宝町の市道と国道が交わる「稲佐立体交差」の平面化計画について、立体交差を維持しつつ、国道を一部埋め立て平地に歩道を整備する方針を明らかにした。

**5月18日** 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（平野町）で（原爆死没者名簿を外気に当てて湿気を取り除く「風通し」が行われた。名簿は新たに3冊加わり、死没者総数は18万9,245人となった。

**5月19日** 県は、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種用として長崎市及び佐世保市に設置している接種センターについて、28日までで終了すると発表した。

**5月26日** 市は、8月9日の平和祈念式典について、参列者を昨年の3倍以上の1,700人規模に拡大すると発表した。

**5月26日** ロシアの侵攻を受けているウクライナから、避難民の女性が来県した。県内への避難民の受け入れは初めて。

**5月27日** 国土交通省は、9月23日に開業する西九州新幹線（武雄温泉-長崎）の運賃と特急料金を、JR九州の申請通りに認可した。

**5月31日** 市は、8月9日の平和祈念式典で

# 令和 4 年 長崎年表

「平和への誓い」を読み上げる代表者に雲仙市の被爆者、宮田隆さんを選んだと発表した。

**6月1日** グラバー園は、園内のライトアップをリニューアルした。

**6月4日** 市恐竜博物館（野母町）で開催中の企画展「アフターマン展～未来生物図鑑」の入場者が、2万人に達した。

**6月7日** 長崎、広島両市の市民団体「高校生平和大使派遣委員会」は、例年国連に核兵器廃絶を求める署名を届けている「高校生平和大使」の今年のメンバーを発表した。

**6月8日** 大石知事は臨時記者会見で、新型コロナウイルス感染症の病床使用率が減少傾向にあるとして、感染段階レベルを「2-I」（警戒警報）から「1」（注意報）に9日付で引き下げると発表した。

**6月10日** 定例市議会は、2007年に女性記者が当時の市幹部（故人）から取材中に性暴力を受けたとして市に賠償を命じた長崎地裁判決を受け、田上市長を6カ月間50%の減給とする条例改正案と賠償金を支払うための本年度一般会計補正予算案を可決した。

**6月12日** 陸上の世界選手権代表選考会を兼ねた日本選手権最終日は、ヤンマースタジアム長居（大阪市）で行われ、女子5,000mで、廣中璃梨佳（長崎商業高等学校出身）が2位に入り、代表に決まった。

**6月13日** 2007年に女性記者が当時の市幹部（故人）から性暴力を受けたとして市に賠償を命じた長崎地裁判決について、控訴期限の13日までに双方が控訴せず、原告勝訴が確定した。

**6月15日** 日本政府は、21日に開幕する核兵器禁止条約第1回締約国会議へのオブザーバー参加を見送ることを決定した。

**6月21日** オーストリア・ウィーンで開幕した核兵器禁止条約第1回締約国会議で、田上市長が演説した。

**6月24日** 市は、2023年4月から市内の旅館やホテルなどの宿泊者に宿泊税を課税すると発表した。

**7月1日** 市の推計人口が今月1日現在で39万9,913人となり、40万人を下回った。

**7月6日** 市とブラジル・サントス市との姉妹都市提携50周年を記念したオンライン交流会が行われた。

**7月8日** 市は、企画・コンサルティング会社「Better」（長崎）とプロジェクト専門会社「Creative Project Base」（東京）と、連携協定を結んだ。

**7月10日** ドイツのアンナレーナ・ベアブック外相は、原爆資料館（平野町）や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（平野町）を訪問し、被爆者と懇談した。

**7月11日** 核兵器禁止条約第1回締約国会議に平和首長会議の代表として参加した松井広島市長と田上長崎市長が、日本記者クラブのオンライン記者会見に広島、長崎から出席した。

**7月13日** 田上市長は、市の男性部長（故人）から2007年に性暴力を受けた報道機関の女性記者に対し、東京都内で面会して謝罪した。

**7月15日** データ入力、情報処理サービス業のシャイン（東京）は、紙書類を電子化するBPO（業務委託）サービスを展開する長崎ビジネスセンターの立地協定を県、市と結んだ。

**7月16日** 市は、防災について学ぶイベント「ながさき防災フェスターあいの夏の雨から40年、伝えよう7・23長崎大水害」を出島メッセ長崎で開いた。

**7月19日** 市は、長崎原爆で被爆し、長年にわたり被爆者の援護活動や核兵器廃絶運動に尽力された故山口仙二さん（2013年に82歳で死去）に対し、「荣誉市民」の称号を贈った。

**7月19日** 県は、新型コロナウイルス感染症の病床使用率が増加傾向にあるとして、感染段階

# 令和 4 年 長崎年表

レベルについて、長崎市及び佐世保市を「2・I」（警戒警報）から「2・II」（特別警戒警報）に引き上げた。

**7月23日** 長崎大水害から40年を迎え、市内各地で慰霊祭が開かれた。

**7月25日** 市議会は、新市庁舎議会フロアへの喫煙室設置方針を撤回した。

**7月30日** 3年ぶりに「ながさきみなとまつり」が長崎港周辺で開かれた。

**8月1日** 田上市長は、平和祈念式典で読む長崎平和宣言の骨子を発表した。

**8月3日** 在日米国大使館は、ラーム・エマニュエル駐日大使が8月9日に行われる平和祈念式典に参列すると発表した。

**8月5日** 市は、3人に対して、誤って新型コロナウイルスワクチンが充填されていない注射器で接種した可能性があるとして発表した。

**8月6日** 広島市では、77回目の「原爆の日」を迎え、「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」が営まれた。

**8月8日** 平和祈念式典に参列する各国の駐日大使らが、爆心地公園（松山町）で原爆落下中心地碑に献花した。

**8月9日** 被爆地長崎は、77回目の「原爆の日」を迎え、平和公園（松山町）で「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が営まれた。

**8月17日** 恐竜博物館（野母町）で開催中の企画展「キングスー白亜紀の支配者たちー」の入場者が、1万人を突破した。

**8月19日** 長崎自動車（長崎バス）は、新型コロナウイルス感染拡大で運転士が不足しているとして、24日から31日まで一般路線バスを減便すると発表した。

**8月22日** 県内の産学官トップが地域振興策を議論する「長崎サミット」が、市内のホテル

で開かれた。

**8月23日** 西九州新幹線（武雄温泉－長崎）の開業当日の指定席券が、全国で発売された。

**8月27日** 田上市長と大石知事は、核拡散防止条約（NPT）再検討会議が、最終文書を採択できず閉幕したことについて、それぞれコメントを発表した。

**9月1日** 大石知事は記者会見で、新型コロナウイルス感染者の「全数把握」を見直し、対象を高齢者らに限定する方針を明らかにした。

**9月9日** 市は、台風11号の影響で、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の1つ、端島炭坑（軍艦島）の見学施設などが一部破損したと発表した。

**9月14日** 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（平野町）の来館者が200万人に達し、記念セレモニーが行われた。

**9月16日** JR九州と市は、JR長崎駅東口の愛称を「かもめ口」、西口を「いなさ口」に決定した。

**9月22日** 西九州新幹線（武雄温泉－長崎）開業前日に、航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」が市上空を試験飛行した。

**9月22日** 長崎自動車（長崎バス）と県交通局（県営バス）は、「まちなか周遊バス」を10月1日から共同運行すると発表した。

**9月23日** 西九州新幹線（武雄温泉－長崎間）が、開業した。

**9月26日** 市は、市が発注し昨年度完成した建設工事678件のうち、技術や出来栄などの評価が特に高かった優秀工事22件について、施工業者の代表と現場代理人らを表彰した。

**9月27日** 安倍晋三元首相の国葬が行われた。

**9月28日** 大石知事は臨時会見で、新型コロ

# 令和4年 長崎年表

新型コロナウイルス感染症の感染段階レベルについて、県全体の病床使用率が下がっているとして、29日から「2-I（警戒警報）」に引き下げると発表した。

**9月30日** 市と九州電力長崎支店は、温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの推進に向けた連携協定を県内で初めて締結した。

**9月30日** 市は、窃盗容疑で逮捕された市の男性職員（52）を停職6ヶ月の懲戒処分とした。

**10月1日** 3年連続で神事だけとなる諏訪神社（上西山町）の秋の大祭「長崎くんち」の始まりを告げる「事始神事」が、同神社であった。

**10月1日** 市は、オフィス事務機器販売のイシマルと総合建設業の西海建設を本年度の「男女イキイキ企業」と認定し、表彰した。

**10月6日** 三菱長崎造船所で被爆し、「最後の被爆漫画家」として核兵器廃絶を訴え続けた西山進さんが、亡くなった。

**10月7日** 長崎くんちの龍などを一堂に集めた「ながさき大くんち展」が、出島メッセ長崎（尾上町）で始まった。

**10月11日** 市原子爆弾被災資料審議会は、「山王神社クスノキ群（坂本2丁目）」と「本蓮寺の鉄輪樹（筑後町）」の2件を、「被爆樹木」に新たに加えることを承認した。

**10月12日** 国指定史跡「出島和蘭商館跡（出島町）」で、史跡指定100周年記念式典があり、約60人が参加した。

**10月14日** 若宮稲荷神社（伊良林2丁目）で、秋季大祭が始まり、国選択無形民俗文化財「竹ン芸」が3年ぶりに奉納された。

**10月20日** 広島市で開かれていた国際NGO「平和首長会議」の第10回総会は、核兵器の早期廃絶に向けた行動を求める「ヒロシマアピール」を採択して閉会した。

**10月23日** 「ツール・ド・ちゃんぽん」の第10回記念大会が、「長崎のもぎき恐竜パーク」を発着点とする4コースであった。

**10月27日** 「長崎ベイサイドフェスティバル」が、長崎水辺の森公園（常盤町）一帯で始まった。

**10月28日** あぐりの丘（四丈町）に、全天候型子ども遊戯施設「あぐりドーム」が、オープンした。

**11月2日** 稲佐山公園駐車場と山頂を結ぶ「長崎稲佐山スロープカー」の利用者が、30万人を突破した。

**11月10日** 恐竜博物館（野母町）で開催している秋の企画展「長崎大恐竜展～触れよう！学ぼうSDGs！シュライヒ恐竜ワールド～」の入場者が、1万人を突破した。

**11月12日** 林外相は、長崎を訪れ、アジアや欧州の駐日大使らと市内の観光施設や企業などを視察した。

**11月16日** 市は、市民が家電製品を省エネタイプに買い替える際に、独自の補助金を出すと発表した。

**11月18日** あぐりの丘（四丈町）の全天候型子ども遊戯施設「あぐりドーム」の入館者が、累計1万人を突破し、記念のセレモニーがあった。

**11月19日** 長崎玉屋（新大工町）跡地周辺を再開発した複合施設「新大工町ファンスクエア」が開業した。

**11月20日** 長崎ベイサイドマラソンが、3年ぶりに開かれ、約2,900人が参加した。

**11月21日** ゆめタウン夢彩都を運営するイズミ（広島市）と市は、市民サービスの向上や安心・安全な暮らしの実現に関する包括連携協定を締結したと発表した。

**11月24日** 県は、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、病床使用率も高まっ

# 令和 4 年 長崎年表

ているとして、感染段階レベルを「1」から「2-I」に引き上げ、警戒警報を発令した。

**11月26日** 市立三重小学校（三重町）で、創立150周年記念式典があった。

**12月1日** 厚生労働省は、「被爆体験者」について、医療費助成の対象疾患を来年度から拡大し、7つのがんを加える方針を決めた。

**12月5日** 市議会建設水道委員会は、市民総合プール（松山町）や市営陸上競技場（松山町）などの再配置について、市に慎重な検討を求める市民団体からの請願を採択した。

**12月6日** 市は、市民総合プール（松山町）の外壁に落書きが見つかったと発表した。

**12月8日** 市は、市営陸上競技場（松山町）のエレベーター部分の外壁に落書きが見つかったと明らかにした。

**12月9日** 田上市長は記者会見で、来年4月の市長選について、立候補しないと表明した。

**12月12日** 市は、田中町に整備した企業立地用地の分譲先に、「皆藤製作所（滋賀県草津市）」が決まったと発表した。

**12月15日** 県は、国際クルーズ船の受け入れについて、長崎港で2023年3月にも再開する方針を明らかにした。

**12月21日** 市と西部ガス長崎は、「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた連携協定を結んだ。

**12月23日** JR長崎駅東口前に、国道202号に架かる仮設歩道橋に昇降するエレベーターとエスカレーターが整備され、供用を開始した。

**12月23日** 2023年1月4日に開庁する新市庁舎（魚の町）の落成式があった。

**12月24日** 「長崎ロープウェイ」の利用者数が、累計で900万人に達した。

**12月27日** 県と市は、北川精機（広島県府中市）と、市に開設する設計拠点「長崎技術センター」の立地協定を結んだ。

**12月28日** 市は、旧市庁舎（桜町）の閉庁式を行った。